

東京

「其の日」暮らし

＝ドイツ編＝



初めての雪かき

ドイツではクリスマスの方がお正月よりも盛り上がるそうで、お正月休みは1月1日だけで2日からはもう出勤だそつです。マイナス5度の日が日常に組み込まれ、気温1度の表示を見ると「今日は暖かいなあ」と思つようになってきました。私は寒がりだったはずなのですが少しずつ適応しているようです。

今住んでいるアパートには共有スペースを交代で掃除する「掃除当番」があります。これは2週間に一度廻ってくる「小さい掃除（居住階の階段掃除）」と3ヶ月に一度廻ってくる「大きい掃除（共同洗濯スペースの掃除、家の前の歩道の掃除、ゴミ捨て）」そして雪が降るとそこに「雪かき（家の前の歩道も含む）」も入ってきます。雪かきは6世帯で一日ずつ当番が来るので6日に1度の頻度で当たります。雪の降っていない日や少ない日は雪かきをしなくても良いか、一度で済みますが、アタリ？ の日は1日に2〜3回をすることになります。私が生まれ育つた大阪でも、しばらく住んでいた東京でも雪かきが必要な地域では無かったので、ドイツで初めて雪かきをすることになりました。ドイツでは雪かきは義務になっていて、賃貸契約書にも朝7時までにする雪かきの義務が明記されています。もしこれを怠つた為に家の前の歩道で滑って転んだ人が全治1週間のけがをした場合、その家の持ち主や雪かき当番の賃貸契約者が治療費その他を支払う事になるそつです。アパートによっては業者に委託したりするようですが、我がアパートは雪かきがあるので、インターネットを見たりドイツ在住の友達にこれを聞いてから雪が降るのをドキドキしながら待っていました。

さてある朝、カーテンを開けたら昨日は何もなかった場所に1晩でキレイに雪が積もっていました。早速アパートのとりまとめ役の人が雪かきをしてくれました。玄関から駐車を抜けて家の歩道に出るまで雪かきシヨベルで一本道を造るだけ。まるで獣道のようにです。後で分かったことですが、本当は駐車場も全体を雪かきしないとダメなようですが、朝の出勤前ということもあり獣道になったようです。

私の当番が廻ってきた朝、外はドンドン雪が降っています。初体験にわくわくしながら朝の6時半に雪かきに出動しました。スキ―場でしか見たことのない様なさらさらの粉雪はシヨベルを押し



一面雪の駐車場

と抵抗無くすぐに道が出来ました。「楽しいやん！」まず玄関から歩道への道とゴミ捨て場までの道を作り、続いて歩道へと移りました。さすがに広いので汗が出てきて、息が上がってきます。それにどんどん雪がひどくなってきました。すでに作った獣道にハッキリと雪が積もってきています。あまりのスピードに驚きながら積もった所の雪かきをするという作業を2回ほどして家に戻りました。せっかく作った獣道も8時半頃にはすでに無くなっていました。もう一度雪かきをしに出動。結局その日は夕方に1度雪かきをし、初めての雪かき体験は終了したのでした。寒くて雪かきが嫌になるかと思っただのですが、雪が降るとなんだか外に出るのが嬉しくなるので冬は当分雪で楽しめそうです。

PUKIPUKI・N

掲載の記事・写真・イラスト等の全てのコンテンツ無断複写、転載を禁じます。

(株) ファッションビジネス・御堂筋新聞